

新はつかいち

2013年

5月30日
第124号
日本共産党
佐伯支部

毎月第2日曜 午前10時

無料生活・法律相談

日本共産党 ひとりでも暮らしやすい相模を
西部地区事務所
37-0171

仲介は
大畑美紀
74-2310

廿日市市議会議員選挙

大畑美紀（現職）議席失う

選挙結果について

大畑美紀候補の4選（町議含む）ならず、市民のみなさんの代表としての大切な議席を失う結果になってしまいました。多くのみなさんのご支援をいただきながら、議会に送り出すことができず、お詫び申し上げます。

次の機会には必ず市議としてみなさんのお役にたてるよう、活動を続けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日本共産党佐伯支部

議長など議会人事決まる

（敬称略）



大畑美紀

議長 有田一彦

副議長 徳原光治

〈議長選挙結果〉

有田一彦（新政クラブ） 15

藤田俊雄（クラブ進風） 12

植木京子（日本共産党市議団） 1

無効 2

〈副議長選挙結果〉

徳原光治（成蹊会） 17

砂田麻佐文（公明党） 12

植木京子 1

4月臨時会報告

4/5

佐伯・吉和地域の議員所属党派（会派人数）

山本和臣 みんなの党はつかいち（1）

堀田憲幸 新政クラブ（9）

岡本敏博 新政クラブ（9）

栗栖敏泰 成蹊会（4）

◆6月定例会は6月11日開会予定です。

本会議、委員会、議員全員協議会の傍聴ができます。

アンケートに寄せられました改善要望箇所のうち、県事業関係については次号でお知らせします。



委員会	委員長	副委員長
総務常任委員会	細田勝枝（公明党）	林忠正（成蹊会）
産業厚生常任委員会	広畑裕一郎（フォーラム21）	井上佐智子（新政クラブ）
建設常任委員会	田中憲次（新政クラブ）	栗栖敏泰（成蹊会）
議会運営委員会	堀田憲幸（新政クラブ）	荻村文規（クラブ進風）
広報広聴特別委員会	高橋みさ子（成蹊会）	松本太郎（修身会）
25年度予算特別委員会	岡本敏博（新政クラブ）	山本和臣（みんなの党）※

※「みんなの党」はみんなの党はつかいちの略

参議院選挙 選挙制度紹介（記載例）
1回目 選挙区の投票は候補者名で
2回目 比例代表の投票は政党名で
比例代表は「**日本共産党**」と政党名で



仁比そうへい（前参議院議員・弁護士）

**条例改正 岩倉ファームパーク
ライトハウスの利用について**

利用時間 8時30分～17時まで
利用料金 1時間までごとに400円～1,040円まで（この範囲で指定管理者が決める）



ライトハウス↑

大畑議員は「5時以降の利用も考えられる。この内容について地元と協議・了承されたのか」「今は利用者の多い時期のみ指定管理者が駐在しているが、今後は「専用利用とキャンプや川遊びの休憩等の利用調整はどうなるのか」と質疑しました。市は「今議会で承認されれば、地元で説明し協議する」と答弁。
地元からは地元利用への配慮を求める意見が出されており、5月末現在、市と地元で協議検討中です。



**◆佐伯地域公共下水道について◆
名称変更 友和处理区⇒佐伯処理区に
今年度 津田地区へ本管敷設始まる**

津田地区については新たな処理場建設は行わず、峠地区の処理場を利用します。

今年度、河津原から津田中心部に向けて本管整備の測量（発注済）・設計を行い、今年度後半には工事に入る予定です。H28年頃に津田中心部まで到達すれば佐伯支所周辺の住宅密集地の面整備を進める計画です。友和地区については、下水道経営課「津田地区からの下水流入が増えれば、処理設備の増設が必要となるため、財源を見ながら、地元要望をきき、認可区域の整備をすすめていきたい」とのことです。

また、整備の時期が分からないため、合併浄化槽にするか下水道整備を待つか、迷っておられる方は、「下水道経営課（または佐伯支所管理課）へ相談してください」（下水道経営課）

*佐伯工業団地下水道は佐伯処理区へつなぎ、工業団地下水特別会計は廃止されました。



**条例制定
新型インフルエンザ
等対策本部条例**

新型インフルエンザ等対策特別措置法制定に伴い、必要な事項を定めるものです。

今後、県の行動計画をもとに市の行動計画も作られます。

**3月議会報告
No.2**



25年度当初予算案

25年度当初予算審査では、下記の議案のようにアルカディア・ビレッジ・国民宿舎「杜の宿」の存続について、意見が分かれました。一般会計予算ではアルカディア・ビレッジ関連予算を除く修正案が出されました。修正案は賛成少数（賛成11 反対14）で否決。原案は賛成多数（賛成22 反対3）で可決。日本共産党市議団は修正案・原案ともに反対しました。
国民宿舎事業会計は賛成多数（賛成14 反対11）で可決。党市議団は賛成しました。

**条例改正 国民宿舎「みやじま杜の宿」
指定管理 または直営で存続**

みやじま杜の宿は、1993年に宮島町が建設、廿日市市が引き継いでいます。指定管理者制度挿入の条例改正は、賛成14 反対12で可決されました。

反対討論の要旨

- ・民業を圧迫している。
- ・安価な宿泊施設は周辺に多くある。
- ・赤字であり、市民に負担をさせることになる。改修しても今後長く維持できる確証はない。
- ・市がやるべき事業ではない。廃止が売却を。

賛成討論の要旨 日本共産党市議団

- ・比較的安価で利用できる国民宿舎の役割はまだ重要である。「民業圧迫」ではなく民間と共存共栄で、観光振興が可能。
- ・実質収支は黒字である。（台風被害後一時期は、来客数減で赤字）今回の改修費用は国民宿舎事業会計の基金6億円の中からまかない、一般会計からの繰入れはない。

賛成した議員 大畑・植木・田中・佐々木・松本・堀田・細田・古井・丸山・砂田・岡本・登・有田・仁井田

反対した議員 荻村・山本・広畑・林・山田・藤田・徳原・高橋・栗栖・石原・小泉・三分一

**アルカディア・ビレッジの指定管理者
（株）共立メンテナンス に**

はつかいちアルカディア・ビレッジは、昨年、指定管理者（株）ケントクが、指定管理期間途中で撤退し、9月から休館となっています。撤退表明の大分前から、運営状態が良くないのではないかとという市民からの声寄せられ、大畑議員が一般質問で指定管理者制度そのものの問題点も含めて指摘しており、業者だけでなく、市の責任は重大です。

この事態を受けて、議会では、「市は反省を」「施設を廃止すべき」などの意見が出され、副市長は「指定管理者制度への認識が甘かった」と陳謝しました。

改めて市は、施設活用案を募集、応じた4社の中で市の選定委員会が（株）共立メンテナンスを選定しました。

賛成15 反対11で可決されました。

反対討論の要旨

- ・失敗した施設の指定管理者が変わっても成功できるとは思えない。市民の税金を投入するには、もっと論議すべき。

賛成討論の要旨 日本共産党市議団

- ・長期間の閉館は老朽化が進み、よくない。単なる「温浴施設」ではなく、所期の目的「市民の憩いの場、子どもの自然体験の場」に立ち返ることで市民利益に。市は施設を整備した責任を果たすべき。

アルカディアは6月に再開